

## 2. 28日本原演習場日米共同訓練反対集会あいさつ

2010年2月28日 12時

県労会議 花田雅行

今日は大変寒い中本集会にお集まりいただきありがとうございます。また饗場野や岩国、鳥取からも参加いただきありがとうございます。

さて、日米共同訓練は、日米軍事一体化方針のもとで2006年2月に1回目が行われ、続いて07年11月に2回目が行われました。今回が3回目です。

今回訓練に参加する自衛隊は金沢から300名が参加し、米軍は沖縄から120名が参加するものです。他府県から来て、米軍との訓練はしてほしくないものです。

先日行われた岡山の市民のつどいで講演した、もと朝日新聞の記者の伊藤千尋さんは「世界ではアメリカに追随していたら生きていけない、これが常識になっている」とお話をされました。1998年依頼、南米では10回の大統領選挙が行われました。そのうち反米左派が9勝、親米右派が1勝、反米左派の圧勝です。なぜそうなったのか理由ははっきりしていて、「アメリカに追随しなくなかった、アメリカに追随したら生きていけない、これが世界の常識です、そして今の南米大陸は反米大陸になっています。」と述べました。

南米は90年代は一斉にアメリカをめざし、アメリカの庇護のもとで暮らすしかないと考えていました。その政権は、リストラ、民営化、外資導入、規制緩和、日本の小泉政権の前です。ドラスチックに公務員の削減を行った。その結果南米社会は崩壊した。そしてもうアメリカべったりはいやだと考えた、その後次々と反米左派が大統領選挙で圧勝しています。

今年の2月23日に開催されていた中南米カリブ海統一首脳会議ではアメリカ抜きの新たな地域機構を設立する事を確認した宣言を採択して閉幕したと報道されています。

アメリカの傘の中ではいいことにならないというのが世界の流れです。

こうした世界の動きの中で、日本はアメリカいなりの方針です。今、普天間基地問題で、鳩山政権は移転先探しに奔走していますが、なぜ沖縄県民の声や国民の声、ましてや自ら言った「県外・国外」の方針まで変えて、アメリカの顔色をうかがうのか、そしてこの日本原で日米の共同訓練を行うのか。普天間基地即時無条件撤去、日米安保条約廃棄こそが、今求められている情勢です。

戦争への道につながる、共同訓練等一つ一つの動きに敏感になり戦争への道を阻止する取り組みを強めていきましょう。今日の行動はその重要な取り組みです最後まで皆さんの参加をお願いしまして、あいさつとします。